

三加和
中学校
学校たより

磨きあう



1限目
4月15日(金)

自分の可能性に挑戦していく学校



本年度、1年生25人、2年生21人、3年生28人の計74人で学校生活がスタートしました。入学式前の2、3年生での始業式では、時間の濃さの話をしました。

時間はみんな同じように過ぎていくけど、中学校の3年間というのはとても濃い時間を過ごしている。その証拠に、50すぎた校長先生でも、40年前の中学校3年間のことは、ついこの前のことのように思いだせます。でも、今はたった3日前のことすらよく覚えていません。保護者の皆様もそうではありませんか？

それほど濃い時間を過ごしているのだから、無駄にせず、何事にもチャレンジしてほしい。自分を磨いてほしい。と伝え、かりゆし58の「わりはじめ」の曲の

イントロを聴いてもらいました。右に歌詞をのせておきます。(保護者の方はきいたことがあると思います) この歌詞のように、かけがえのない、この大切な時間を有効に使ってほしいと思います。

1年生には、入学式の式辞で同じように挑戦してほしい、という話をし

もうすぐ今日が終わる
やり残したことはないかい？
親友と語り合ったかい？
燃えるような恋をしたかい？
一生忘れないような
出来事に出会えたかい？
かけがえのない時間を
胸に刻み込んだかい？

「ない後悔より、する後悔」をすするよりに伝えました。何にでも、おわった後に「あーあ、やっぱりはかった…」と後悔するより、やて失敗して「世人ならよかた」と思えることをくり返した方が、人として大きく成長する、と思います。

私は専門が理科なのですが、以前生物学でこんなことを習いました。「子どもはよくケがまする。そして、その分、治る力も強く早く治る。それはたたくのケがをして、痛みや危険を経験して強い大人になるためだ。」

何でもそうです。たたく人の成功や失敗をくり返して、多くの経験をつんであらゆることに対応できる大人になってください。

そして保護者の皆様、どうか**失敗するチャンス**をうばわないてください。力強い大人になるため、子どもを信じてください。よろしくお願ひします。

こんな人に惚(ほ)れなさい!!

先日、「校長に話がある?」と電話がありました! その内容は、という、女の子が(三加和中生)横断歩道を渡るため、自転車からおりてまわっていたそうです。そこで車が止まって女の子を救ったそうなのですが、その子がその車に対しておじぎをしたそうです。それだけでもすがすがしいのですが、その女の子は、その時止まった車すべて、1台1台におじぎをしてくれました!! すごくいいですね!! その電話をくださった方は、4台目だったそうですが、とても感激されて連絡してくれました。「このあたりは、保護者も、地域もすばらしいんですね!!」

とおっしゃってました。(たまたま通ったそうです) とても嬉しい気持ちになりました。みんながこうあつと、日本、いや世界全体、幸せですよ!!

☆7-プロでつのがき手で、きたなり手書きで出しました。貝村いづみさんが、手書きのままでいいか、多岐決まるとので、返信お願ひします。

()年()月()日
7-プロ・手書き ← われを付けてください。

01.DER.FAX.PPC.原稿用紙 5年1組